

綾瀬市パブリックコメント手続の実施結果

1 政策等の名称

綾瀬市 DX 推進計画（案）

2 意見募集期間

令和 7 年 2 月 3 日（月）から令和 7 年 3 月 5 日（水）まで

3 配布及び閲覧場所

- (1) 市役所情報政策課 DX 推進担当（市役所 2 階）
- (2) 市役所行政資料コーナー（市役所 1 階）
- (3) 市役所情報公開コーナー（市役所 2 階）
- (4) 市ホームページ h
- (5) 中央公民館、各地区センター（中村・吉岡・綾南）
- (6) 寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館
- (7) 保健福祉プラザ、綾北福社会館

4 実施結果

意見提出者 1 人
意見件数 6 件
提出方法 郵送 0 人、メール 1 人

5 提出された意見の概要及びそれに対する市の考え方

No.	提出された意見の概要	市の考え方
1	P12に「人との繋がり、対面コミュニケーションなどを重視したDX」とあるように、全ての取り組みの評価軸として「繋がりを増やすか」、「自分たちの手でつくり変えていけるか」を加えて選んでください。	<u>その他（要望、参考意見等）</u> DX推進に関する意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

2	<p>P17適格な情報発信、情報を人力で取りまとめるのではなくて、常時半自動的に最新の情報が発信されるしくみを目指す方向とする方が良いのではと感じます。「正確な情報が確認できるまで出さない」のではなく「確認中ということが分る状態で見える」形を目指す方向とできませんか。これはトランプ革命と同じ方向性です。</p>	<p><u>その他（要望、参考意見等）</u> 行政から発信する情報量について、配慮する必要があると考えております。 DX推進に関する意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>P21の自治会コミュニティ支援、「自治会非加入者も防災共同体として情報共有グループに入ってもらって交流できる」方向性をめざすべきではと感じます。お金や面倒がない距離感でつながる事から開始して、巻き込んでいくステップを試行錯誤することそのものをDXしないと、縮小するばかりの地域コミュニティの課題解決が高すぎる壁でありつづけ、誰も挑戦できません。</p>	<p><u>その他（要望、参考意見等）</u> デジタルの活用により自治会役員の業務負担を軽減することで、自治会活動の創出や交流の促進に寄与するものと考えています。 DX推進に関する意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>P22 個人に即した情報配信として、SNS活用で効果的な情報配信とありますが、「市民どうしのつながり」「日常で市民からの情報発信」「地域での共有」を促すことで市民が確実に情報を受け取る能力もあがると思いますので、「市民側からの発信促進」の観点も盛り込んではどうでしょう。</p>	<p><u>その他（要望、参考意見等）</u> 必要な方に必要な行政情報を確実にお届けする手法として、SNS活用によるセグメント配信等を解決の方向性と現時点で定めているところです。 なお、本市では、市民側からの情報発信にも取り組んでおります。 DX推進に関する意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>

5	<p>P29児童・生徒の多様な学び方創出で、「オンラインや仮想空間等でも学び・繋がれる環境を検討」とありますが、取り組み方針1「人との繋がり、対面コミュニケーションなどを重視したDXを進めます」に反するので止めてください。仮想空間でつながることは、悪影響もあります。日本語が不十分な中で多言語を学ぶと混乱があるのと同じように、物理空間の経験が不十分な中で仮想空間を学ぶことは混乱を招く危険性があります。人間は、一度知ってしまうと知らなかった状態には戻れません。</p>	<p><u>計画案に反映できないもの</u> 本市のDX推進につきましては、対面の重要性も認識した上で、デジタルの活用を進めるものとしております。 仮想空間での繋がりが、課題解決の一つの手法として、適用できるかどうかの検討を続けていくものとしております。</p>
6	<p>P46 デジタルデバイドの対策について、シニア向けスマホ教室などは市民同士で教えあえる場を作ることで、継続的にお互いの学び合いが生まれる仕組みをつくることを望みます。</p>	<p><u>その他（要望、参考意見等）</u> スマホサポーター養成事業に令和7年度から取り組むなど、住民主体の支えあい活動を増やすことにも取り組んでおります。DX推進に関する意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>